

令和6.5.1 直方第二中学校 校長川原国章 第2号

## 【直方第二中学校の重点目標】

## 意欲的に学び、自分の思いや考えを表現できる生徒の育成

本年度も引き続き、自ら学び、自分の思いや考えを表現する力を育む・伸ばすことに力を入れ、教育活動を行っていきます。これから大きく変化し続けていく新しい時代には、「たくましく生き抜く力」「自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく力」を育むことが求めら

動し、よりよく問題を解決していく力」を育むことが求められています。そのためには、問題解決・課題解決の場面を日常生活の中で多く設定し、継続的に、そして具体的にその解決に取り組ませることが必要です。本校では、ブロック活動(縦割りによる異学年交流)や各学年・学級での活動を通して課題解決に具体的に取り組ませることで、自分たちで物事を解決する力の育成を目指しています。また、人と人の関わりを体験する教育相談の技法を活用し、社会性の基礎の習得・人間関係でくりにも力を入れ活動を行います。生徒同士のよりよい人間関係をつくり、授業や補充学習での学び合い、教え合いを取り入れることは、「学力向上」にもつながるものと考えます。よりよい人間関係づくり、集団づくりが実現できた学校は、様々な面で成果を上げております。成果が見えてくるまでには時間がかかると思いますが、全教職員で『一致団結』し、その実現に努力していきたいと思います。

## 【部活動について】

部活動の在り方(部活動における休養日及び活動時間)については、 家族で過ごす時間や家庭学習等にも取り組める時間を保障するととも に、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれ た生活を送ることができるよう、原則として、以下を基準とします。

○ 学期中は、週当たり2日以上の休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。



- 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、 生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多 様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間を設け る。
- 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度とし、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。



## 【授業参観及びPTA総会、部活動保護者会について】

先日の授業参観及びPTA総会、部活動保護者会におきまして、多数の保護者の皆様に参観、ご出席いただき、ありがとうございました。



実施したアンケート結果については以下の通りでした。 (4点満点)

Several of the severa	
【授業を参観されて】	平均
生徒たちは興味や関心を持って学習に取り組んでいる。	3. 5
授業の内容は生徒たちに分かりやすく説明されている。	3. 6
生徒が考える場面や発表する場面が設定されている。	3. 7
教室では落ち着いた雰囲気で授業が行われている。	3. 3
教職員のあいさつや対応はていねいである。	3. 6